

令和2年8月27日

横浜市健康福祉局長 田中 博章 様

横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会
委員長 阪東 美智子

横浜市寿生活館指定管理者候補者の選定結果について（報告）

標記の件につきまして、横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会により、令和2年7月29日に第2回横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会にて審査を行った結果、以下のとおり指定管理者候補者を選定しましたので、報告いたします。

- 1 横浜市寿生活館指定管理者候補者
候補者名：公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会
代表者：理事長 豊澤 隆弘
所在地：横浜市中区寿町4丁目14番地
- 2 選定結果報告書
別添のとおり

横浜市寿生活館指定管理者候補者選定結果報告書

横浜市寿生活館の指定管理者候補者の選定にあたり、横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会は、応募団体から提出された提案書類の審査及びヒアリングを行いました。

このたび、審査が終了し、指定管理者候補者を決定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

1 横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会

委 員 氏 名	備 考
阪東 美智子 委員長	国立保健医療科学院 生活環境研究部 建築・施設管理研究領域 上席主任研究官
三浦 保之 委員	NPO法人 市民の会寿アルク事務局長
丹羽 多佳子 委員	不老町地域ケアプラザ 地域包括支援センター社会福祉士
江原 晶子 委員	横浜市南部病院医療ソーシャルワーカー
柳原 匠巳 委員	公認会計士

※備考については委員就任当時のもの

2 選定経過

年 月 日	経 過
令和2年3月9日（月）	第1回横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会を開催 議題1 委員長の選出 議題2 公募要項・評価基準について 議題3 選定スケジュールについて 議題4 次回会議の公開について
令和2年3月19日（火）	横浜市寿生活館指定管理者公募要項配付
令和2年4月10日（金）	横浜市寿生活館指定管理者応募説明会（申込なく非開催）
平成2年5月18日（月） ～令和2年5月22日（金）	横浜市寿生活館指定管理者応募受付
令和2年7月29日（水）	第2回横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会を開催 議題：指定管理者候補団体の審査

3 応募団体

団体数：1

団体名：公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会

代表者：理事長 豊澤 隆弘

所在地：横浜市中区寿町4丁目14番地

4 審査結果

横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会において、厳正な審査を行った結果、公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会は横浜市寿生活館の管理・運営を安定して継続できると判断し、指定管理者

候補者として選定した。

なお、第2回横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会において決定した最低基準（全体の得点の60％）を満たしていることを確認した。

5 審査得点

団体名	合計得点	得点率
公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会	403点（500点満点）	80.6%

6 審査総評

団体名	評価項目及び指摘事項
公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会	・横浜市寿町健康福祉交流センターと連携した取組も行われているので、役割分担をしつつ、施設ごとの特色を生かした運営を行っていただきたい。施設での現場対応を大切にしつつ、建物の管理運営や事故防止など管理面についても進めていただきたい。また、長期で指定管理を継続すると運営が固定的になりやすいので、運営の効率化・スリム化の工夫の視点を持っていただけるとよい。 ・長年にわたり運営を行ってきた団体であり、事業の実施については特に問題ないと感じた。 一方、今後事業をどうしていくか、どうやめていくかについては具体的な考えを持ってほしい。会計面に関しては、民間の競争性のある指定管理者制度を公益財団法人の会計で当てはめる難しさはあるが、その前提に立てば、頑張っている印象を受けるものの、対応できていない部分も見られたので、対応をお願いしたい。 ・長く指定管理を行っている中で新陳代謝の部分は難しい面があるが、地域の関係団体との交流会の開催など活動を積極的に行われていてよいと感じた。 ・施設見学にも行ったが、職員の方もよく対応されている印象を受けた。設備面が古くやや暗い感じを受けるので、応募団体だけの問題ではないが、この点も改善していただきたい。 ・ボランティアの方に時々手を借りつつも、施設職員により事業が行われ、地域に広がっている状況は良いと思う。これまでの運営経験の中で着実にベースが出来上がっていると感じている。